



音楽を通して、少しでも誰かの心に
そっと寄り添えるような存在に
～ミュージシャン・猫田ねたこさんインタビュー～



ねこた

猫田ねたこさんプロフィール

金井高等学校卒業(軽音楽部)※

ミュージシャン、

バンド・JYOCHOのボーカル&キーボード

JYOCHO HP: <https://jyocho.com/>

JYOCHO YouTube:

www.youtube.com/c/JYOCHO

※猫田さんの本名・年齢(卒業期)等は非公表となっています。猫田さんご本人についてご存じの方は、この記事に関連して個人の特定可能な情報を発信されないよう、お願い申し上げます。

今回は、10月30日の金井高校創立50周年式典の日、第2部の記念音楽会にご出演予定の、金井高校卒業のミュージシャン、猫田ねたこさんのインタビューです。【聞き手:森】

——本日はお忙しい中、同窓会のインタビューに応じていただきありがとうございます。よろしくお願いいたします。

猫田. こちらこそよろしくお願いします。

——まず、自己紹介をお願いします。

猫田. 初めまして、金井高校卒業生の猫田ねたこと申します。(*名前は活動名です) 高校での軽音楽部に始まり、今でも音楽活動を続けています。現在は『JYOCHO』(じょうちょ)というバンドで、ボーカル&キーボードを担当しています。

——“JYOCHO”はどのようなバンドなのか。

猫田. JYOCHOは京都出身のバンドで、ギター&コーラス、ボーカル&キーボード、フルート、ドラム、サポートベースの5人の編成になります。フルートがいるのは、バンドでは珍しいかもしれません。私は東京に住んでいるので、スタジオ練習はいつも京都まで行って入っています。

「JYOCHO」を音楽ジャンルで言うなら、自分たちでは「ロック」や「プログレッシブポップ」等と表現していますが、お客さんには「マスロック※1」と表現していただくことも多いです。変拍子の中でテクニカルなフレーズが各パートに織り込まれています。リーダーでギター&コーラスのだいじろー(コンポーザー)のタッピング奏法※2が特に注目を集めるバンドかと思います。アニメのエンディングテーマなどもいくつか担当しているので、もしかしたら既に耳にしたことがある方もいらっしゃるかもしれません。(例えば、『JYOCHO - 云う透り / As the Gods Say Maniac ver.』(*Netflixシリーズ「伊藤潤二『マニアック』」EDテーマ)という曲。)良かったら、ぜひYouTube等で『JYOCHO』を検索してみてください※3。

※1:マスロック(Math Rock)…変則的なリズム、ギターを中心とした鋭角的なメロディや不協和音などが特徴のロック

※2:タッピング奏法…エレキギターなどの弦を指で叩き付けたりして音を出す技法

(※1、※2ともに Wikipedia より引用)

※3:JYOCHO YouTube…

<https://www.youtube.com/@JYOCHO>

——音楽を始められたきっかけ、プロのミュージシャンへと至った経緯を教えてください。

猫田. 中学卒業後(高校入学前)の春休みに、家族の一人がこの世から旅立ってしまったことがきっかけでした。元気を貰うために聴き始めた音楽でしたが、やがて、「私も音楽で同じような気持ちの人を救いたい」という気持ちに変わっていきました。高校・大学は軽音楽部に所属し、コピーバンドをしていましたが、卒業後には人前でオリジナル曲を披露するようになりました。そしてしばらくして、弾き語り公演をしに京都に行った際、リーダーのだいじろーと出会ったことが縁で今の活動に繋がっています。

——今は、どのような活動をされているのですか。

猫田. JYOCHOでは、音源・ミュージックビデオのリリースや、国内・海外での公演、映像作品のテーマソングを担当する等、活動をしています。また、ソロ名義としても同じようにリリースや公演をしたり、CM楽曲の制作・歌唱をしたりと、様々な形で音楽に携わらせていただいています。

——今後やっていきたいことは何ですか。

猫田. 音楽を通して、少しでも誰かの心にそっと寄り添えるような存在になれると嬉しいです。

——金井高校ではどのような高校時代を過ごされたのですか。

猫田. 先に書いた家庭内の理由で、今振り返ってみても、ちょうど高校生活が人生で一番しんどく感じた時期だったような気がします。受け止め方や自己表現の仕方も難しく感じ、よく悩んでいました。真っ赤な髪色のソフトモヒカンにしたり、耳にピアスをいくつも開けたりと、気持ちが荒れていることは服装にも出ていたと思います。

それでも、軽音楽部室でメンバーと大きな音で演奏したり、お昼休みに友人と職員室に入り込んで仲の良い先生のおやつをつまんだりして怒られる…なんていう小さな出来事がすごく楽しかった。思い浮かぶのは、そんな何気ない日常シーンです。

——高校時代のある意味“やんちゃな”風貌もそういった事情があったのですね。軽音楽部ではこういった仲間とどんな音楽を演奏されていたのですか。

猫田. 決まったメンバーでのコピーバンド(ガールズバンド)や、文化祭等のイベントに向けて単発で組むコピーバンド等がありました。一公演のセットリストに、当時流行っていた曲や、みんなが盛り上がりくれそうな曲等、一つのアーティストに絞らず選曲していたので、色んなジャンルの曲を演奏していたと思います。ちなみに写真は、X(X JAPAN)の『X』を歌っているところです。

私のパートはバンドによって代わり、ボーカル以外にもドラムやギターの担当もありました。



——今回、金井高校の創立50周年記念式典で第2部の記念音楽会にご出演いただく予定です。ご出演にあたって思われることがあれば。

猫田. 金井高校50周年式典の日は、わたしとだいじろーの2人編成 ver.の JYOCHO で演奏させていただきます。在校生の皆さんも、今、様々なことで悩みを抱えていると思います。そんな皆さんにとって、何か励みになるような演奏ができればと思います。

——ご出演、楽しみにしております。本日は貴重なお時間をありがとうございました。

猫田. こちらこそ、この度は大切な 50 周年の節目で声を掛けていただき、誠にありがとうございます。私たちも当日を楽しみにしております。

《最新のリリース情報、直近のライブ、出演予定など》

《ライブ情報》

2025 年 8 月 8 日(金) at 東京・Spotify O-
nest JYOCHO presents 『情緒大陸 Vol.7』
OPEN 18:15 / START 19:00

出演：JYOCHO、ayutthaya、downt

[チケット一般発売] 6 月 6 日(金)22:00~
https://t.livepocket.jp/e/0808_jyochotairiku07

学割(限定枚数販売)¥2,400 + 1Dr、前売
¥4,400 + 1Dr

《『JYOCHO』プロフィール》

2016 年、
超絶テクニック
を誇るギタリス
ト・だいじろー
(ex. 宇宙コン
ビニ)によって
京都にて始動。
だ い じ ろ ー



(Gt/Cho)、猫田ねたこ(Vo/Key)、はやしゆう
き(Fl)、山崎浩二郎(Dr)から成るプログレッシ
ブ・ポップバンド。様々なジャンルを通過した音
楽性に、テクニカルなトラック、温かみ、激情をふ
んだんに盛り込んだ JYOCHO にしかできない
独自の世界観を構築する。

2023 年 1 月には Netflix シリーズ「伊藤
潤二『マニアック』」の ED テーマ「云う透り」を収
録した『云う透り e.p』をリリース。同年、アニ
メ『真の仲間じゃないと勇者のパーティーを追い
出されたので、辺境でスローライフするこ とにし
ました』の ED テーマ「みんなおなじ」が収録さ
れたアルバム『しあわせになるから、なろうよ
(Let's Promise to be Happy)』が、米国レ
ーベル・Topshelf Records からレコード・カ
セットで全世界リリース。

2024 年 1 月から放送されたアニメ『真の
仲間 2nd』の ED テーマも担当。”情緒”感た
っぷりな音楽性で世界規模で注目を集め、海を
越えて活躍中。